より起つたものであります取締官憲の態度も随分横暴がありました。大正十三年でしたか警保局長山村政治氏でしたと思ふ、社會と云ふ事は絶對に使つてはならぬ、使ふなら直ちに解散命令を發すると言はれるので私の黨でも仕方なく民衆黨など付けた様な次第で又社會と云ふ言葉がないので無産黨と書いて居たので「何か財産の無い政黨とはおかしな政黨だな—」と不思議がつて居た位ひ其當一般も無産運動がまだかつた。今日でも多くの人は無産黨は全國五名の代議士では出來ない、言ふ事は正しいが實行が出來ない、力がないと云つて多くの人が無關心であるが誠にもある通り「千里の道も一歩から」である先づ第一歩から踏み出して行かねばならぬ。昨年天下を取つた「マクドナルド」を首領とする英國勞働黨でも一九〇五年には一人の代議士を持つたに過ぎぬが其が一九三〇年には第一黨として大英國の政權を取つたではないか。一を二とする、二を三とする社會進化の原則によらねばならぬ。

財團法人協調會福岡出張所